

記入例

大熊町長 殿

児童手当 認定請求書

請 求 者	①（ふりがな）	おおくま たろう					②性別	③（男）・女		③生年月日	昭和・平成 5・1・1		提出年月日	令和 6・9・17		※受付確認年月日	令和 ・ ・	
	氏名 （法人名等）	大熊 太郎					④職業	ア.被用者 イ.公務員 ウ.被用者等でない者		⑤配偶者	⑥有・無		※認定・却下年月日			※支給開始年月		
	⑥住所 （法人の主たる事務所の所在地）	〒 979 - 13** 大熊町の住民票住所を記入					1月1日時点の住所 （1～5月分は前年、 6～12月分は本年）		（左欄と異なる場合に記入してください）		転入時の申請など、基準日時点での住民票住所が異なる場合に記入				令和 ・ ・		令和 （令和 年 月 分）	
	⑦個人番号	請求者のマイナンバーを記入					⑧請求者の加入している 公的年金制度の種別	ア.厚生年金保険 イ.国民年金 ウ.その他（ ） ※以下の共済組合の組合員である場合は括弧内に○を記入してください。 （ ）私立学校教職員共済 （ ）国家公務員共済 （ ）地方公務員等共済		⑨所得の 状況	令和		記入不要 （税務情報照会のうえ、事務員が記入します）					
配 偶 者 等	⑩（ふりがな）	おおくま はなこ					⑪生年月日	昭和・平成 5・3・3		⑫請求者の控除対象配偶 者または同一生計配偶者 の場合に○印	記入不要		⑬個人 番号	配偶者等のマイナンバーを記入				
	氏名	大熊 花子					⑭職業	ア.被用者 イ.公務員 （勤務先： ） ウ.被用者等でない者		1月1日時点の住所 （1～5月分は前年、 6～12月分は本年）		（左欄と異なる場合に記入してください）						
⑯児童の兄姉等 （18歳に達する日以後の最初の 3月31日を経過した日22歳に達 する日以後の最初の3月31日ま での間にある者）	氏名	続柄	生 年 月 日	監護相当 の有無	生計費負担 の有無	同居・別居 の別	海外留学をしている 場合の出国年月	⑰「監護相当の有無」及び「生計費負担の有無」がいずれも「有」 の場合は、本請求書と併せて「監護相当・生計費の負担についての 確認書」をご提出ください。 （⑯児童の兄姉等と⑰児童の合計人数が3人以上の場合に限る。）		※算定対象の 場合に○印								
	大熊 小太郎	子	平成 15・5・5	有・無	有・無	同・別	令和 年 月											
⑰ 児 童	氏名	続柄	生 年 月 日	監護の有無	生計関係	同居・別居 の別	海外留学をしている 場合の出国年月	住所 （別居の場合）	※児童との関係 該当する場合に○印	※第3子以降の 場合に○印	※3歳未満の 場合に○印	※左記以外の 場合に○印	※手当月額					
	大熊 小次郎	子	平成 25・5・5	有・無	同・維持	同・別	令和 年 月	児童と請求者の住民票 が異なる場合に記入	☆添付書類 ①請求者の保険証等（医療保険資格情報のわかるもの） ②本人確認書類（運転免許証など） ③請求者名義の受給口座の通帳等 （銀行・支店名、口座番号、名義人がわかる部分） 以上3点の写し。 1月1日時点で他市区町村に住民票があった方は、 所得証明書（1～5月申請分は前年度、6～12月申請分 は本年度のもの）の提出を求める場合があります。 ※その他、詳しくは裏面をご確認ください。									
	大熊 梨子	子	平成 5・3・3	有・無	同・維持	同・別	令和 年 月											
				監護の有無は有に○、 生計関係は同一に○	同一・維持	同	令和 年 月	請求者と住民票が同じ→同に○ 請求者と住民票が違う→別に○										
				有・無	同一・維持	同・別	令和 年 月											
⑱支払希望 金融機関	名称	預金種別	支店コード	支店名	口座番号		口座名義		必ず、請求者名義の口座を 登録してください。		※合計月額							
	〇〇〇〇 銀行 金庫 信組 農協 漁協	普通・当座	* * *	××支店	* * *	5 6 7	大熊 太郎				円							

◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。 ※印の欄は、記入しないでください。字は、楷書（かいしよ）ではっきり書いてください。